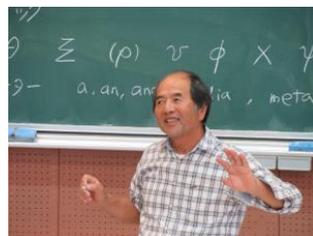


# 図書館便り No3 「文化講座開催と図書リクエスト」

図書館長・電子情報工学科 伊藤明

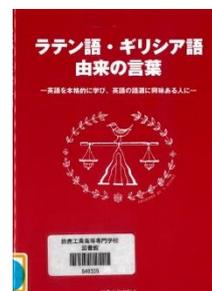
## 「第 21 回 文化講座開催」

[11月9日に図書館主催の文化講座を10年ぶりに開催](#)しました。奥貞二名誉教授による講演で、「[言葉の由来を知って英語を身近に](#)」と題し、英語の約7割がラテン語やギリシャ語が由来であることなど紹介しながら、ラテン語やギリシャ語の特徴や素晴らしさ、ラテン語動詞から派生語が作られる仕組みなどが解説されました。英語を深く学びたい学生や語源に興味のある学生・教職員には言語文化の理解を深めるひとときとなりました。



講演風景：奥貞二 名誉教授

今回は、コロナ禍であることを踏まえて学生と教職員に限定し 18名の参加があり、アンケートでは、今後も定期的に様々な分野での文化講座の開催を望む声が多くありました。可能であれば、今後も同様に「学ぶことの楽しさ」「専門分野以外の教養を深めるためのキッカケ」について、幅広い分野についての講演会を来年度以降も計画したいと考えています。ご講演いただいた奥先生のご本も図書館に蔵書されています。図書館が皆さんの「知的好奇心に応え」、「新たな愉しみへの入り口」の一つとなることを願っています。



『ラテン語・ギリシア語由来の言葉』奥貞二著

## 「図書リクエスト」

ところで、[図書館には「書籍のリクエスト」が可能](#)であることをご存知でしょうか？ 機会があれば、リクエストをしてみてください。奥先生の講演を拝聴して、私も一冊図書館に購入リクエストした本があります。こちらも英語史に関する本で、中学以来の私の英語に関する疑問が解き明かされていてとても楽しかったです（例えば、なぜ同氏現在形では三人称単数だけsを付けるのか？ など）。おすすめの一冊です。



『はじめての英語史：英語の「なぜ？」に答える』堀田隆一著

”活字離れ”と言われていますが、人間は「言葉」と「文字」から離れて生活することは、きっとできません。現在ウェブ上に多くの情報が増え続けていますが、ビット（電子データ）にはまだ変換されていないアトム（紙などの媒体：メディア）の情報もまだまだたくさんあります。触れる、匂う、見渡せるなどなど、紙に印字された書籍にはまだまだ魅力が満載です。どちらかの一択ではなく、是非ビットとアトムの両方とで愉しくお過ごしください。[図書館の書籍](#)一同、みなさんの来館をお待ちしております。

(2022/12/01)